

第2章 ひかり未来指標

前期基本計画（2007-2011）

これからのまちづくりには、行政のみならず、このまちに暮らし、活動するすべての市民、団体、企業が、光市の目指す都市の将来像を共有し、共創と協働によるまちづくりを進める必要があります。

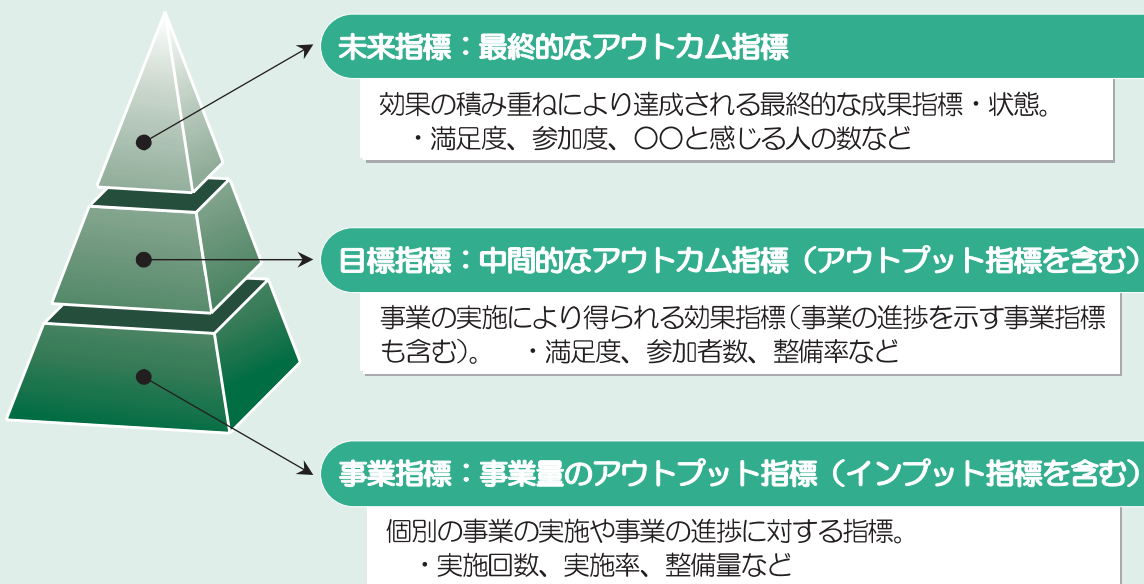
このため、未来に向けて本市が展開する施策の代表的な目標値を「ひかり未来指標」として4つの大綱別に示し、その実現状況を明らかにしていくことにより、計画の実効性の確保と市民協働のまちづくりを推進します。

なお、「ひかり未来指標」は、本市初の取組みであり、現状の数値や目標値の設定が困難なものについては、計画策定当初は、その方向性を示すことにしますが、年次的な充実を図ります。

また、指標の改定状況や達成状況については、毎年度改定する「行動計画」の中で評価し、その結果を市民に明らかにすることにより、PDCAサイクルに基づく検証と改善を行い、効果的かつ効率的な計画の推進に努めます。

さらに、本市では、「ひかり未来指標」に加えて、行政評価システムを構築することにより、個々の事業を評価・検証し、その改善へとつなげていきます。

● 未来指標の概念



未来指標は、基本目標ごとに、将来目標としている姿（状態）を表すものとして設定しますが、基本目標の下位に位置づけている、「個別目標」の中の主要施策にも個別の目標指標（まちづくりの指標）を設定していることから、これらの指標を積み重ね、達成される成果指標として設定します。

I 人と地域で支えあうまち

市民主体の地域活動や市民活動が活性化され、互いに支えあい、誰もが健康で生き生きと暮らせるまちの実現を目指して、次の指標を未来指標として設定します。

指 標 の 内 容	近 況 値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参 考 値 (平成28年)
市民活動支援に関する「満足度」 ※(「地域コミュニティ活動の支援」に関する満足度+「市民団体やNPOの育成」に関する満足度)÷2 (市民アンケート調査)	$(9.3\% + 5.9\%) \div 2$ = 7.6%	12.5%	25.0%
市民の自治活動への「参加度」 ※(自治会や公民館活動に参加している人の割合+まちづくり活動に参加している人の割合)÷2 (市民アンケート調査)	$(61.4\% + 23.3\%) \div 2$ = 42.4%	50.0%	60.0%
NPO法人の数 ※やまぐち住み良さ指標 (NPO法人認証数:平成18年8月末)	13 団体	20 団体	30 団体
市民の健康づくりへの「取組み」 ※普段から健康に心がけている人の割合 (市民アンケート調査)	85.7%	90.0%	95.0%
福祉対策に関する「満足度」 ※(「高齢者福祉対策」に関する満足度+「障害者福祉対策」に関する満足度)÷2 (市民アンケート調査)	$(17.6\% + 13.1\%) \div 2$ = 15.4%	20.0%	30.0%
市民の福祉活動への「参加度」 ※福祉ボランティアに参加している人の割合 (市民アンケート調査:今後実施)	—	増加	増加
光市への「愛着感」 ※光市に愛着感を持っている人の割合 (市民アンケート調査)	68.2%	75.0%	80.0%

※市民アンケート調査(平成17年8月実施)

Ⅱ 人を育み人が活躍するまち

子育て環境、教育環境の充実や、スポーツ、生涯学習、文化・芸術の振興など、人を育み、人が活躍するまちの実現を目指して、次の指標を未来指標として設定します。

指 標 の 内 容	近 況 値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参 考 値 (平成28年)
子どもの育成に関する「満足度」 ※(「子育て支援対策の充実」に関する満足度+「学校教育の充実」に関する満足度)÷2 (市民アンケート調査)	$(18.0\% + 15.7\%) \div 2$ = 16.9%	20.0%	30.0%
生涯学習・文化・スポーツ振興に関する「満足度」 ※(「生涯学習の充実」に関する満足度+「スポーツの振興」に関する満足度+「文化・芸術活動の振興」に関する満足度)÷3 (市民アンケート調査)	$(17.7\% + 20.7\% + 17.7\%) \div 3$ = 18.7%	21.7%	30.0%
保育環境に関する「充実度①」 ※待機児童数(平成17年度)	0人	0人	0人
保育環境に関する「充実度②」 ※(延長保育実施率+一時保育実施率+障害児保育実施率)÷3(平成17年度)	$(100\% + 100\% + 100\%) \div 3$ = 100%	100%	100%
不登校児童生徒の割合 ※やまぐち住み良さ指標(平成17年度)	0.57%	0.4%	0.3%
青少年健全育成活動への「参加率」 ※青少年健全育成活動に参加している人の割合 (市民アンケート調査:今後実施)	—	増加	増加
光市の住みよさ ※光市が「住みよい」と感じている人の割合(住みよい+まあまあ住みよい) (市民アンケート調査)	$(39.2\% + 43.0\%)$ = 82.2%	85.0%	90.0%

Ⅲ 人の暮らしを支えるまち

安全で安心して暮らすことができ、自然環境にやさしく、住む、憩う、働くといった人が人らしく暮らしていくことができる魅力と活力のあるまちの実現を目指して、次の指標を未来指標として設定します。

指 標 の 内 容	近 況 値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参 考 値 (平成28年)
快適な都市基盤の整備に関する「満足度」 ※(「歩道の拡幅・段差の解消」に関する満足度+「まちなみ・景観の整備」に関する満足度+「快適な居住空間の整備(今後実施)」に関する満足度)÷3 (市民アンケート調査)	$(20.2\%+25.8\%+\square\%)\div 3$ —	向上	向上
上下水道の「普及率」 ※(水道普及率+下水道普及率)÷2 (平成17年度末)	$(81.4\%+65.9\%)\div 2$ = 73.7%	81.8%	84.8%
自然環境の保全に関する「満足度」 ※「自然環境の保全」に関する満足度 (市民アンケート調査)	20.6%	25.0%	30.0%
市民のごみの減量や省エネルギーへの「取り組み」 ※(ごみの分別を行っている人の割合+省エネルギーに心がけている人の割合(今後実施))÷2 (市民アンケート調査)	$(94.2\%+\square\%)\div 2$ —	増加	増加
安全・安心に関する「満足度」 ※(「災害対策の充実」に関する満足度+「防犯対策の充実」に関する満足度+「交通安全対策の充実」に関する満足度)÷3 (市民アンケート調査)	$(9.0\%+15.2\%+17.8\%)\div 3$ = 14.0%	18.3%	30.0%
市民の防災への「取り組み」 ※普段から災害に備えている人の割合 (市民アンケート調査)	32.8%	50.0%	70.0%
市民の地産地消への「取り組み」 ※地元の食材を購入している人の割合 (市民アンケート調査:今後実施)	—	増加	増加
産業振興や雇用に関する「満足度」 ※(「中小企業の支援」に関する満足度+「地場産業の振興」に関する満足度+「企業誘致・雇用の確保」に関する満足度)÷3 (市民アンケート調査)	$(6.6\%+6.4\%+8.0\%)\div 3$ = 7.0%	11.7%	23.3%
今後の「居留意識」 ※今後もずっと光市で暮らしたいという人の割合 (市民アンケート調査)	69.6%	75.0%	80.0%

Ⅳ 時代を拓く新たな都市経営

市民・行政の協働によるまちづくり推進や、行財政改革による持続可能な都市経営が行えるまちの実現を目指して、次の指標を未来指標として設定します。

指標の内容	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
市政への「関心度」 ※市民の市政に対する関心度(大変関心がある+まあまあ関心がある) (市民アンケート調査)	$(16.9\% + 55.8\%)$ $= 72.7\%$	75.0%	80.0%
市政への市民参加に関する「満足度」 ※「(市民意見のまちづくりへの反映)に関する満足度+「市政への市民参加の推進」に関する満足度」÷2 (市民アンケート調査)	$(28.2\% + 11.9\%) \div 2$ $= 20.1\%$	25.0%	35.0%
情報提供・公開に関する「満足度」 ※「情報提供や情報公開」に関する満足度 (市民アンケート調査)	20.4%	25.0%	30.0%
市民アンケートの回収率 ※基準値は市民アンケート2種類の平均 (市民アンケート調査)	$(38.3\% + 36.5\%) \div 2$ $= 37.4\%$	40.0%	50.0%
経常収支比率 ※平成17年度	91.6%	90%未満	—
実質公債費比率 ※平成15～17年度3ヶ年平均	22.4%	18%未満	—
市税収納率 ※平成17年度	95.9%	96.5%	97.0%
市民サービスに関する「満足度」 ※「市民サービスの充実」に関する満足度 (市民アンケート:今後実施)	—	向上	向上

